

佐賀大学
海洋エネルギー研究センター報告
2018年度



目次

巻頭言.....	1
活動経緯.....	2
セミナー・シンポジウム等報告	3
第 15 回海洋エネルギーシンポジウム (OES2018)	3
平成 30 年度共同利用・共同研究成果発表会.....	5
第 16 回 海洋エネルギーに関する合同セミナー	7
第 5 回 若手研究者のための海洋エネルギーに関する国際プラットフォーム 人材育成事業 2018 ..	10
第 12 回 海洋エネルギーに関する国際セミナー 2019	16
平成 30 年度 佐賀大学海洋エネルギー研究センター成果発表会	17
施設見学会	18
2018 年度 佐賀大学海洋エネルギー研究センター	
伊万里サテライト・オープンラボ.....	18
2018 年度見学会実績	21
組織.....	22
業績集.....	24
学術論文	25
国際会議 Proceedings.....	32
国内学会発表.....	44
資料・解説・論説・研究報告等	55
新聞・テレビ.....	57

巻頭言

海洋エネルギー研究センター長

永田修一

本センターは、現在、文部科学大臣から、「我が国の海洋エネルギーの創成と応用に関する先導的な共同利用・共同研究拠点」として認定を受け、活動を行っております。本センターでは、第3期中期目標・中間計画期間（平成28年度～令和3年度）において、従来から戦略的・重点的に推進してきた「海洋温度差発電」、「波力発電」とともに、新たに「潮流発電」、「洋上風力発電」に関する基礎的・実証的研究を重点研究開発テーマとして位置付け、関連する研究体制の整備や設備の充実を図り、海洋エネルギーに関する世界トップレベルの総合的・国際的な研究拠点形成を目指しています。

本報告書は、第3期の3年目となる平成30年度のセンター活動内容をまとめたものです。平成30年度は、本センターの「伊万里サテライト」と「久米島サテライト」の2つの研究拠点をベースに、海洋温度差発電、波力発電、潮流発電、洋上風力発電に関する研究を中心に実施しました。海洋温度差発電に関しては、マレーシア工科大学との SATREPS の実証プロジェクトとして、マレーシアと日本の両政府および各国の研究機関との研究体制を構築し、ハイブリッドサイクルに関する研究の準備を実施しました。久米島サテライトにおいては、海洋温度差発電の後の海水を利用して、水素製造および海水淡水化の研究を継続して実施しました。波力発電に関しては、浮体式及び固定式の振動水柱型装置を中心に、発電性能向上に関する研究を実施しました。潮流発電に関しては、本センターで開発した案内羽根付衝動タービンを用いた装置の開発や相反転プロペラ式潮流発電装置の開発を行いました。洋上風力発電に関しては、スパー型浮体の波浪中動揺低減に関する研究を実施しました。

また、共同利用・共同研究拠点として、国内外の研究機関から59件の共同利用研究を受け入れ、その研究を支援するとともに、海洋エネルギーシンポジウム、海洋エネルギーに関する国際セミナー、海洋エネルギーに関する合同研究セミナー、共同利用・共同研究成果発表会、本センターの研究成果発表会を実施して、関連コミュニティから多数の参加を得ました。第5回となる「若手研究者のための海洋エネルギーに関する国際プラットフォーム人材育成事業」を継続して実施しました。この事業は、今年度も科学技術振興機構の「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」と合同で実施して、19の国と地域から26名の若手研究者の参加を得ました。

以上の詳細につきましては、本報告書をご確認頂ければと存じます。

本センターは、業績集の発行および年度末に行う成果発表会によって、「自己点検および評価」を行い、外部の方々の評価および指導を受けながら、設置目的を達成すべく運営を行っていく所存です。今後とも、本センターの運営にご協力及び御高配のほど、宜しくお願い致します。

活動経緯

期 日	行 事	会 場
2018. 7. 14	オープンラボ	IOES 伊万里サテライト
2018. 8. 30	第 15 回 海洋エネルギーシンポジウム 2018	佐賀大学 本庄キャンパス 菱の実会館
2018. 8. 31	平成 30 年度 共同利用・共同研究成果発表会	佐賀大学 本庄キャンパス 菱の実会館
2018. 10. 19- 20	第 16 回 海洋エネルギーに関する合同セミナー	釜山大学校
2018. 11. 26- 12. 1	第 5 回 若手研究者のための海洋エネルギーに関する国際プラットフォーム人材育成事業 2018	IOES 伊万里サテライト
2019. 3. 4	第 12 回 海洋エネルギーに関する国際セミナー2019	IOES 伊万里サテライト
2019. 3. 5	平成 30 年度佐賀大学海洋エネルギー研究センター成果発表会	IOES 伊万里サテライト

第 15 回海洋エネルギーシンポジウム (OES2018)

日付：2018 年 8 月 30 日 10:00～17:00

会場：佐賀大学本庄キャンパス菱の実会館

第 15 回海洋エネルギーシンポジウム (OES2018) を佐賀大学本庄キャンパス菱の実会館で開催しました。午前に 2 件の基調講演、午後に 11 件の一般講演を行ないました。参加者は 63 名でした。

今年度は上田悦紀氏（日本風力発電協会）および泉照久氏（東洋建設）に基調講演して頂きました。

上田氏から「洋上風力発電の現状と技術的課題」の題目で、風力発電の世界的な発展、欧州における洋上風力発電の広がり、日本におけるポテンシャル、コストと技術的課題等について、具体的な数値に基づきながらご講演頂きました。

泉氏から「海洋資源・エネルギーにおける施工技術について」の題目で、再生可能エネルギー施設を海洋に設置する際に必要となる土木作業、係留技術、作業船等についてご説明頂きました。

プログラム

10:00-10:05 開会挨拶

< 基調講演 >

10:05-11:05 洋上風力発電の現状と技術的課題

上田悦紀（日本風力発電協会）

11:05-12:05 海洋資源・エネルギーにおける施工技術について

泉照久（東洋建設）

12:05-13:05 昼食

< 一般講演 >

13:05-13:25 数値流体計算による振動水柱型波力発電装置特性の研究

鈴木正己（琉球大学）

13:25-13:45 二重消波ケーソンを利用した OWC 型波力発電装置の一次変換特性

居駒知樹（日本大学）

13:45-14:05 円筒 OWC 型発電装置の空気室に関するスケール影響について

安澤幸隆（九州大学）

14:05-14:25 水平軸タービン波力発電機(Half Scale)のモルジブ実験

武部英樹（沖縄科学技術大学院大学）

14:25-14:45	鹿児島周辺海域の潮流および海流パワーポテンシャルについて 山城徹（鹿児島大学）
14:45-15:05	STEM プログラムに基づくエネルギー教育の実践（ハワイ州の学習標準と教科書「島エネルギーの探求」の事例） 角 和博（佐賀大学）
15:05-15:15	休憩
15:15-15:35	海水冷却型プレート式熱交換器における生物汚れに関する研究 一瀬純弥（水産大学校）
15:35-15:55	沖縄における海洋熱エネルギーと深層水の有効利用の研究（低流量海洋深層水の多段的利用） 松田 昇一（琉球大学）
15:55-16:15	海洋深層水からの抗癌物質生産性放線菌の分離と諸性状 今田 千秋（東京海洋大学）
16:15-16:35	スプレーフラッシュ蒸発式海水淡水化プラントの制御器設計に関する研究 松田 吉隆（佐賀大学）
16:35-16:55	δ -SPH 法による海洋浮体構造物の挙動の解析 竹中 大輝（佐賀大学）
16:55-17:00	閉会挨拶



日本風力発電境界 上田悦紀様



東洋建設 泉照久様

基調講演の様子

平成 30 年度共同利用・共同研究成果発表会

日付：2018 年 8 月 31 日 10:00～14:50

会場：佐賀大学本庄キャンパス菱の実会館

平成 30 年度共同利用・共同研究成果発表会を佐賀大学本庄キャンパス菱の実会館で開催した。共同利用・共同研究成果発表会は、当センター共同利用・共同研究課題に採択された国内外の研究者による研究成果発表会である。平成 30 年度は、平成 29 年度採択課題 70 件から 11 件の研究成果についての講演があった。参加者 57 名で、海洋温度差発電、波力発電、潮流発電、洋上風力発電の発電 4 分野の他、関連技術、海洋教育等の幅広い課題について活発な質疑応答が行われ、海洋エネルギーに関する研究への関心の高さがうかがわれた。

プログラム

10:00-10:05	開会挨拶	
10:05-10:25	自然風況における風車性能測定のための低コスト型マルチファン能動制御乱流風洞の開発	利光和彦（福岡工業大学）
10:25-10:45	Pressure Drop Characteristics and Difference between Experimental and Theoretical Pulsatile Flow in Grooved Channels	于麗（大連理工大学）
10:45-11:05	アンモニア水の状態方程式を利用した計算プログラムの精度改善（アンモニア高濃度蒸気の VLE 計算）	山口朝彦（長崎大学）
11:05-11:25	食塩水を電解液とする電気二重層キャパシタの検討	坪田敏樹（九州工業大学）
11:25-11:45	2 段ランキンサイクルを用いた海洋温度差発電プラントの制御器設計に関する研究	後藤聡（佐賀大学）
11:45-12:05	Improvement of active pitching strategy for vertical-axis tidal turbines by Numerical Investigation	陳兵（大連理工大学）
12:05-13:05	昼食	
13:05-13:25	海洋教育に関する漬物づくりカリキュラムの開発と評価	岳野公人（滋賀大学）

13:45-14:05	プラズマアクチュエータを用いたウエルズタービンから発生する空力音の低減に関する基礎研究	柴田将人（大分大学）
14:05-14:25	有限時間整定関数を用いたサンプル値制御による波力発電の有効性（振動体を持つタンデム型 波力発電装置の場合）	小竹茂夫（三重大学）
14:25-14:45	波力発電用直線翼垂直軸タービン（性能に及ぼす案内羽根の位置の影響）	坂口優希（佐賀大学）
14:45-14:50	閉会挨拶	

第 16 回 海洋エネルギーに関する合同セミナー

日付：2018 年 10 月 19-20 日

会場：釜慶大学校 Daeyeon キャンパス 図書館 2F（‘Video Seminar Room’）
（釜山市, 韓国）

海洋エネルギーに関する合同研究セミナーは、日韓の研究者における海洋エネルギー研究に関する学術交流と若手研究者の教育を主な目的として、毎年夏に開催されています。セミナーでは毎回、オーラルセッションとポスターセッションが行われ、海洋エネルギーやその周辺技術に関する研究について活発な討論が行われています。今年度は韓国・釜山市で開催されました。参加者数は 46 名で、2 件の招待講演と若手研究者による 20 件（オーラル 10 件、ポスター 10 件）の発表がありました。

参加大学：PuKyong National Univ. (PKNU), Korea Maritime & Ocean Univ. (KMOU),
Mokpo National Maritime Univ. (MMU), 水産大学校 (NFU), 佐賀大学 (IOES)

参加者数：46 名

PKNU 12 名（教職員 5 名，大学院生・学部生 7 名）

KMOU 11 名（教職員 5 名，大学院生・学部生 6 名）

MMU 2 名（大学院・学部生 2 名）

NFU 3 名（教職員 2 名，大学院生・学部生 1 名）

IOES 18 名（教職員 9 名，PD 1 名，大学院生 8 名）

Program

October 19th (Friday)

13:00-14:00	Registration	
14:00-14:10	Welcome Address	Prof. Jong Soo Kim, Director, PKNU Prof. Ki Ryong Kwon, Dean of College of Engineering, PKNU

Invited Lecture

14:10-14:40	Counter-Rotating Type Power Unit Playing Outstandingly at Offshore	Toshiaki Kanemoto, IOES
14:40-15:10	Synchrotron X-ray imaging for understanding micro/nanometer scaled interfacial phenomena	Dong In Yu, PKNU
15:10-15:15	Break	

Oral Presentation (1)

15:15-15:30	Numerical Simulation of Dual Rotor Horizontal Axis Wind Turbines	Ali Azzam, KMOU
15:30-15:45	Falling Film Evaporation of HFO-1233zd(E in Vertical Rectangular Minichannels Consisting of Serrated-fins	Yuta Nobumoto, NFU
15:45-16:00	Simulation of hydraulic power-take-off of wave energy converter	Ryotaro Inoue, IOES
16:00-16:15	A Study on Design and Computational Analysis of a 10W Pico-hydro Portable Turbine	Bao Ngoc Tran, MMU
16:15-16:30	Numerical Optimization of Counter-Rotating Type Tidal Stream Power Unit	Ho Yun Jung, IOES

Poster Presentation

16:30-17:00	Numerical study on the influence of wave length for wave energy absorption of a floating body	Hyun Jong Kim, PKNU
	Thermal Performance of Concentric Annular Thermosyphon for Passive Cooling of Spent Fuel Pool	Min Seok Kim, PKNU
	The Design and Development of a Horizontal Wave Power Generator	Watchara Tongphong, KMOU
	A Study of OTEC application on deep-sea FPSOs	Benedict Song, KMOU
	Marine Survey off the Coast of Kumejima	Tetsuya Nishida, NFU
	Experimental Research on Efficiency in a Fixed Oscillating Water Column-Type Wave Energy Converter with impulse turbine	Tomoki Kashima, IOES
	Calculation of flow around a circular cylinder and forced heaving plate by Vortex Method	Yotaro Noguchi, IOES

	The Visualization of Herringbone-type Plate Heat Exchangers for Ocean Thermal Energy Conversion	Kiwamu Sasaki, IOES
	Experimental Study on Performance of Tidal Stream Impulse Turbine with Flow Collector	Takashi Hanayama, IOES
	Experimental Study on shape and stability improvement of Spar type offshore windmill	Ahmed Gomma, IOES

Oral Presentation (2)

17:00-17:15	Structural Analysis of 5 kW Small Kaplan Turbine	Minh Ngoc Pham, MMU
17:15-17:30	Study on the power conversion of wave power generation equipment	Makoto Fukai, IOES
17:30-17:45	Thermal Characterization of an Aluminum Flat Plate Oscillating Heat Pipe for Automotive Applications	Jae Yeong Lee, PKNU
17:45-18:00	CFD Analysis and Optimization of tidal current turbine equipped with diffuser	In Cheol Kim, KMOU
18:00-18:15	Simplified Performance Evaluation Method for Heat Exchangers Applied to Ocean Thermal Energy Conversion System	Natsuki Koyama, IOES
18:30-20:30	Banquet & Meeting	

Oct. 20 (Sat.)

9:00-12:00	Visiting Korea Maritime and Ocean University Flow Informatics Lab. (prof. Young Ho Lee) Korea National Maritime Museum
------------	---

第 5 回 若手研究者のための海洋エネルギーに関する国際プラットフォーム 人材育成事業 2018

日付：平成 30 年 11 月 26 日（月）～12 月 1 日（土）

会場：佐賀大学海洋エネルギー研究センター 伊万里サテライト

第 5 回目となる海洋エネルギーに関する国際プラットフォーム人材育成事業は、海洋エネルギー研究を行う若手研究者の研究能力向上と学術交流の推進を目的として日本国内および海外から参加者を募りました。今回は、19 の国と地域から 26 名が参加しました。具体的には、アメリカ、イギリス、イタリア、イラン、インド、インドネシア、エジプト、オランダ、韓国、ギリシャ、スペイン、タイ、中国、ドイツ、パラオ、フランス、ポルトガル、マレーシア、大阪大学などからの参加です。本事業では、海洋エネルギー研究の第一人者による特別講義、若手研究者による研究発表会、企業などの視察を実施しました。

若手研究者による研究発表会では、各発表に対する審査が行われ、4 名にベストプレゼンテーション賞が贈られました。グループ討論会では、「What is the barrier to promote Ocean Energy?」「What should we do to promote Ocean Energy?」というふたつの課題に対してグループごとに議論し、グループ毎に討論結果を発表しました。また、企業視察の後、ショートプレゼンテーションとして本事業内容を振り返り、本事業で得られた知見について、参加者が発表しました。

Program

November 26 (Mon.), 2018

15:30	Registration & Orientation
18:00	Welcome Reception

November 27 (Tue.), 2018

9:00-9:10	Opening Ceremony Prof. Shuichi Nagata Director of IOES
-----------	---

Special Lectures

9:10-9:50	Ocean Energy Utilization	Prof. Takeshi Kinoshita Nagasaki Institute of Applied Science, JAPAN
9:50-10:30	Advanced Off-shore Wind Energy	Prof. Tomoaki Utsunomiya Kyushu University, JAPAN

10:30-11:10	Development of Wave Energy Utilization	Prof. Shuichi Nagata Institute of Ocean Energy at Saga University, JAPAN
11:10-11:20	Coffee Break	
11:20-12:00	Present State and Future Challenges of Tidal Current Power Generation in Japan	Prof. Yusaku Kyojuka Nagasaki University, JAPAN
12:00-12:40	Advanced Ocean Thermal Energy	Prof. Yasuyuki Ikegami Institute of Ocean Energy at Saga University, JAPAN
12:40-14:00	Lunch Break *Optional tour (IOES Facilities)	

Presentations by Young researchers

Session1: Offshore Wind Energy

Chair: Michael Kelly, University of California, Berkeley, USA

14:00-14:20	Floating installation of offshore wind turbines	Shuxing Li Dalian University of Technology, CHINA
14:20-14:40	Multi-criteria site selection for offshore floating wind farms	Hugo Diaz Martinez Instituto Superior Técnico, PORTUGAL
14:40-15:00	SENSITIVITY ANALYSIS OF NON-LINEAR HYDRODYNAMIC LOADS FOR MONOPILE OFFSHORE WIND TURBINE	Abdolmajid Moghtadaei Queen's University Belfast, UK
15:00-15:20	Structural Analysis of Floating Vertical Axis Wind Turbine (VAWT)	Ahmad Adilah Osaka University, JAPAN
15:20-15:30	Coffee Break	

Session2: OTEC and DSW applications

Chair: Georgios Lavidas, Delft University of Technology, Netherlands

15:30-15:50	Application of OTEC at Equatorial Area to Achieve SDGs	Kang-hee Lee KRISO (Korea Research Institute of Ships & Ocean Engineering), KOREA
15:50-16:10	Bathymetry data analysis of the Ocean Thermal Energy Conversion (OTEC) resource	Mohammad Shafiq Bin Rahmat Universiti Teknologi Malaysia, MALAYSIA

16:10-16:30	Deep Sea Water Solutions for Manado, Indonesia	Machiel van der Veer Delft University of Technology, NETHERLANDS
16:30-16:40	Coffee Break	
16:40-17:00	Effective Seawater Desalination using Ocean Thermal Energy and SBA-16 Mesoporous Material -A low cost novel approach	Dsilva Winfred Rufuss D Anna University, Chennai, Tamil Nadu, INDIA
17:00-17:20	The challenges of Hybrid Ocean Thermal Energy Conversion - lessons learnt from Organic Rankine Cycle application in automotive low-grade heat recovery	Meng Soon Chiong Universiti Teknologi Malaysia, MALAYSIA
17:20-17:40	The Visualization of Flows Accompanying with Evaporation inside of Plate Heat Exchangers for Ocean Thermal Energy Conversion	Kiwamu Sasaki Saga University, JAPAN

November 28(Wed.), 2018

Presentations by Young researchers

Session3:Wave Energy Converter Chair: Martha Maria Deen, GEOMAR, Germany

9:00-9:20	Annual Performance of the NREL Oscillating Surge Wave Energy Converter with Controllable Geometry	Michael Kelly University of California, Berkeley, USA
9:20-9:40	Design Concept of Waves Energy Electricity System With Dual Turbines Mechanism and Automotion Control System Integration	Halid Nuryadi Darma Persada University, INDONESIA
9:40-10:00	Development of Oscillating Bodies in Array Configuration as Wave Energy Converter Device	Mohd Rashdan Saad Universiti Pertahanan Nasional Malaysia (UPNM), MALAYSIA
10:00-10:20	Hydrodynamic performance of floating wave energy converters incorporated with a vertical-wall breakwater	Long Wang Dalian University of Technology, CHINA

10:20-10:40	Impact and adaptation to future climate changes in the coastal zone of Thailand	Rachata Sareesri King Mongkut' s University of Technology Thonburi, THAILAND
10:40-10:50	Coffee Break	
10:50-11:10	Importance of Interdisciplinary Methodologies to Accelerate Wave Energy	Georgios Lavidas Delft University of Technology, NETHERLANDS
11:10-11:30	Performance Analysis of a floating OWC- type Wave Energy Converter "Backward Bend Duct Buoy" by Vortex Method	Yotaro Noguchi Saga University, JAPAN
11:30-11:50	Potential Oscillating Water Column Wave Energy Converter for Generation in Indonesia	Muhammad Ridho Darma Persada University, INDONESIA
11:50-12:10	The study of power wave generation in the coastal zone of Thailand by Using computational fluid dynamics (CFD)	Treerat Kuljitjuawong King Mongkut' s University of Technology Thonburi, THAILAND
12:10-13:10	Lunch Break	

Session4:Environment and Ocean energy potential

Chair: Hugo Diaz Martinez, Institutur Superior Tecnico, Portugal

13:10-13:30	ASSESSMENT OF SEA SURFACE EXTREME WAVE EVENTS	Mohamad Abu Ubaidah Amir Ecole Centrale de Nantes, FRANCE
13:30-13:50	Calculating the regional Ocean Energy Potential using seismic data	Martha Maria Deen GEOMAR, GERMANY
13:50-14:10	Comparing Photosynthesis Rates of Coral Species, Porites cylindrica, Taken from 2 Similar Bays with Different pH Levels	LeahMarie Bukurou Palau Community College, PALAU
14:10-14:30	Effects of the Invasive Species Macaca Fascicularis in Palau	Daysha N. Adelbai Palau Community College, PALAU

14:30-14:50	Natural Shore Protection Method as Countermeasure of Beach Erosion in Ojigahama Beach, Shingu City	Muhajjir Osaka University, JAPAN
14:50-15:00	Coffee Break	

General Discussions

15:00-17:30	General Discussions
17:30-17:40	Best Presentation Award Ceremony

November 29(Thu.), 2018

9:00-10:00	Guided Tour (Namura Shipbuilding Co., Ltd.)
10:15	Move to Nagasaki by Chartered Bus
PM	Free Time

November 30(Fri.), 2018

9:25-10:15	Guided Tour (Mitsubishi Heavy Industries, Ltd.)
10:30	Move to IOES by Chartered Bus
12:00	Travel Expenses Payment from Saga University, Lunch break
13:30	Move to Fukuoka by Chartered Bus
15:00-16:30	Guided Tour (Sea water Desalination Plant)
16:45	Move to Hakata by Chartered Bus

December 1(Sat.), 2018

9:00-10:30	Short Presentations by Young Researchers
10:30-10:45	Closing Ceremony

ベストプレゼンテーション賞受賞者 (4名)

氏名	所属	発表題目
Ahmad Adilah (JAPAN)	Osaka University	Structural Analysis of Floating Vertical Axis Wind Turbine (VAWT)
Machiel van der Veer (NETHERLANDS)	Delft University of Technology	Deep Sea Water Solutions for Manado, Indonesia

Michael Kelly (USA)	University of California, Berkeley	Annual Performance of the NREL Oscillating Surge Wave Energy Converter with Controllable Geometry
Martha Maria Deen (GERMANY)	GEOMAR	Calculating the regional Ocean Energy Potential using seismic data



IOES 伊万里サテライト前集合写真



特別講演の様子



グループ討論発表の様子



修了証を手に集合写真

第 12 回 海洋エネルギーに関する国際セミナー2019

日付：平成 31 年 3 月 4 日（月）

会場：佐賀大学 海洋エネルギー研究センター 伊万里サテライト

第 12 回海洋エネルギーに関する国際セミナー（International Seminar on Ocean Energy 2019）が佐賀大学海洋エネルギー研究センター伊万里サテライトで開催された。

今年度、波力発電分野から Indian Institute of Technology Madras の Prof. Abdus Samad, 洋上風力発電分野から米国 Principle Power 社 CEO の Dr. Dominique Roddier, 同じく洋上風力発電分野から日立造船株式会社 社会インフラ事業本部の大窪慈生氏に講演を依頼した。参加者は 48 名であった。

Prof. Abdus Samad からはインドにおける波力発電開発の歴史と現在の技術、今後の展望について講演があった。Dr. Dominique Roddier からは浮体型洋上風力発電装置 Windfloat 開発についての講演があった。大窪氏からは NODO 事業で進行中の浮体型風力発電装置の建造と設置に関する講演があった。

講演プログラム

PROGRAM:

14:00-14:10	Opening remarks
14:10-15:10	Ocean Energy Research and Development in India Prof. Abdus Samad, Indian Institute of Technology Madras, India
15:10-16:10	Globalizing Offshore Wind Dr. Dominique Roddier, Principle Power, USA
16:10-16:25	Break
16:25-17:25	Demonstration Project of Barge type Floating Wind Turbine Dr. Shigeki Okubo, Hitachi Zosen Corporation, JAPAN
17:25-17:30	Closing remarks
18:00-20:00	Seminar party

平成 30 年度 佐賀大学海洋エネルギー研究センター成果発表会

日付：平成 31 年 3 月 5 日

会場：佐賀大学 海洋エネルギー研究センター 伊万里サテライト

本センターでは、学内外の方々へ向けて教職員の 1 年間の研究活動について報告を行うために、毎年度末に成果発表会を開催しています。今年度の成果発表会では、学内外から 36 名の参加があり、海洋温度差発電部門で 4 件、波力発電部門で 2 件、潮流発電部門で 2 件、洋上風力発電関係で 1 件、水素関連で 1 件、計 10 件の研究発表が行われ、会場の参加者を交えた活発な意見交換が行われました。

プログラム：

10:00-10:10	センター自己評価・点検 センター長	
10:10-10:30	海洋温度差発電システムの高性能化に関する研究	池上康之
10:30-10:50	アルミ板伝熱面をもつプレート式凝縮器の凝縮熱伝達測定	有馬博史
10:50-11:00	休憩	
11:00-11:20	海洋温度差発電の最適化に関する研究	安永健
11:20-11:40	波力発電装置の二次変換に関する研究	今井康貴
11:40-12:00	固定 OWC 型波力発電装置のエネルギー変換効率に及ぼす空気室形状の影響	村上天元
12:00-13:00	昼食	
13:00-13:20	水素吸蔵合金を用いた副生水素回収システムの動特性解析	光武雄一
13:20-13:40	スパー型洋上風力発電施設の形状改良に関する研究 -その 2- 減揺プレートの形状影響	石田茂資
13:40-14:00	Numerical optimization of the counter-rotating type tidal stream power unit	Ho-Yun Jung
14:00-14:20	Counter-rotating type power unit moored with one cable in tidal stream	Liu Pin
14:20-14:40	A relationship between drainage speed and drainage settlement depth in temperature stratified fluid by numerical analysis	Hua Dan
14:40-14:45	閉会挨拶	
15:00-15:40	施設見学	

2018 年度 佐賀大学海洋エネルギー研究センター 伊万里サテライト・オープンラボ

日付：2018 年 7 月 14 日

会場：佐賀大学海洋エネルギーセンター 伊万里サテライト

佐賀大学は 2018 年 7 月 14 日（土）に、佐賀大学海洋エネルギー研究センター伊万里サテライトのオープンラボ（施設見学会）を開催した。センターでは、現在注目されている再生可能エネルギー、海洋エネルギーについて触れることが出来る絶好の機会として、インターネットや TV、その他メディアを通して全国の皆様へ来場を呼びかけました。

当日は、

海洋温度差発電プラント（OTEC）、
海洋流体エネルギー実証試験水槽（波力発電）、
海水淡水化実験装置、
海洋深層環境実験装置、
水素実験装置、
潮流発電実験装置、
海洋温度差発電模型

などの実験装置の紹介や発電実演を行いました。

その他にも、施設紹介ビデオ上映や、自転車発電、屋外での燃料電池自動車の展示・試乗や佐賀県の海洋再生可能エネルギーの取組の紹介の展示も実施しました。

また、今年 4 回目となる「第 4 回全国海エネ絵はがきコンテスト」には、405 枚の作品の応募があり、その中から最優秀賞、優秀賞、入選、特別賞に小中学生 19 名の入賞作品が選ばれ、当日午後 1 時から表彰式を行いました。

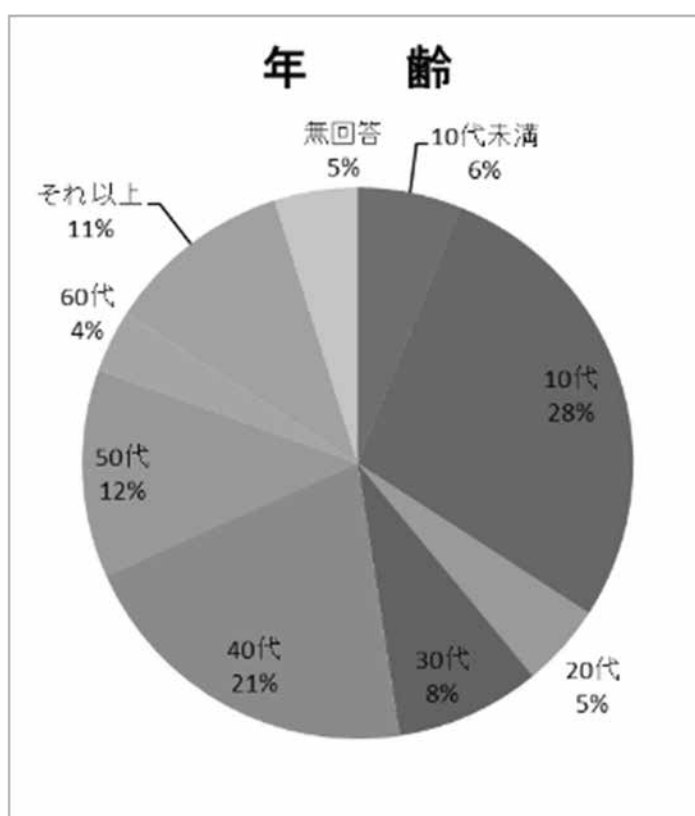
さらに、海洋エネルギーをテーマとした下記「公開講座」を各テーマ 10 分間の講義形式で実施しました。

1. 海の風で電気を起こす洋上風力発電： 石田茂資 教授
2. 伊万里と海洋温度差発電： 池上康之 教授
3. 水素エネルギーのおはなし： 光武雄一 教授

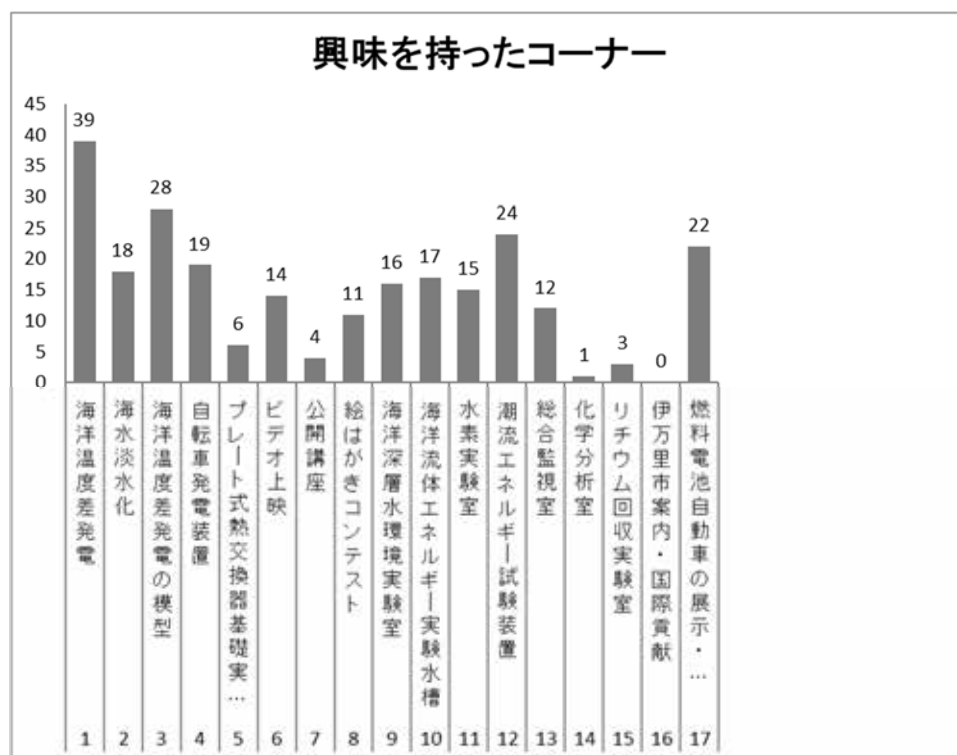
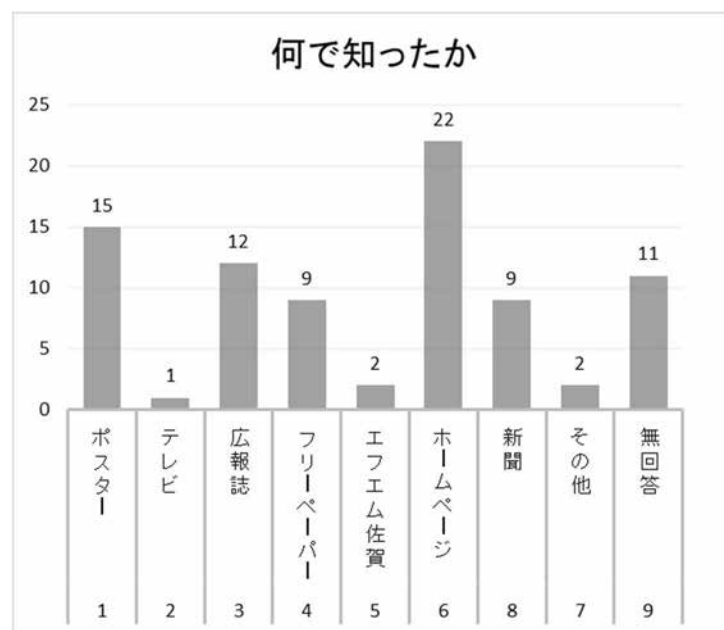
今回は全国から 153 名の方々にご来場頂きました。

見学者内訳

年代	人数
10 代未満	5
10 代	23
20 代	4
30 代	7
40 代	17
50 代	10
60 代	3
それ以上	9
無回答	4
合計	82



アンケート結果



2018 年度見学会実績

海洋エネルギー研究センター伊万里サテライト（実験施設）では、研究成果の公開およびエネルギー環境教育の推進を目的として、実験施設の一般公開を行っている。見学は研究教育の都合上、毎週祝祭日を除く木曜日と金曜日の 2 日間、午後 2 時から午後 4 時まで受け入れている。見学会は約 1 時間半のコースで、教職員が館内を案内する。また、見学者にはパンフレットを配布し、詳細な情報を提供している。

見学者内訳

所属	人数
大学・研究機関	190
行政・政府	72
財団・協会	100
民間	41
小中高等学校関係	279
メディア	1
一般	27
オープンラボ	158
その他	218
合計（うち外国人）	1086 (136)

海外からの訪問者

イラン、インド、インドネシア、エクアドル、エジプト、エチオピア、エルサルバドル、オランダ、韓国、ギリシャ、ケニア、ジブチ、スペイン、タイ、台湾、中国、パラオ、バングラデシュ、マレーシア、USA

組織

氏名	職名	備考
永田 修一	教授	センター長
池上 康之	教授	副センター長
光武 雄一	教授	
石田 茂資	教授	
木上 洋一	教授	
金元 敏明	特任教授	
門出 正則	特任教授	
杉 剛直	准教授	
有馬 博史	准教授	
今井 康貴	准教授	
村上 天元	准教授	
安永 健	助教	
大渡 啓介	教授（併任）	（理工学部）
奥村 浩	教授（併任）	（理工学部）
檜澤 秀木	教授（併任）	（経済学部）
嘉数 誠	教授（併任）	（理工学部）
後藤 聡	教授（併任）	（理工学部）
角 和博	教授（併任）	（教育学部）
萩原 世也	教授（併任）	（理工学部）
花本 猛士	教授（併任）	（理工学部）
林 信行	教授（併任）	（農学部）
渡 孝則	教授（併任）	（理工学部）

氏名	職名	備考
塩見 憲正	准教授(併任)	(理工学部)
三島 悠一郎	講師(併任)	(理工学部)
浦田 和也	技術専門職員	
Jung HoYun	研究機関研究員	
柳 品 (Liu Pin)	研究機関研究員	
HUA DAN	研究機関研究員	
岩崎 君夫	技能補佐員	
松本 理恵	技能補佐員	
吉武 幸士郎	技能補佐員	
久保田 健次	技能補佐員	
岩崎 麻衣子	技能補佐員	
馬場 美智留	事務補佐員	
川崎 康子	事務補佐員	
飯盛 裕子	事務補佐員	
井原 真理子	事務補佐員	
宮崎 りか	事務補佐員	
水町 妃呂美	事務補佐員	

業 績 集

学術論文

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
Huang, H. Bian, Y. Liu, Y. Zhang, F. Arima, H. Ikegami, Y.	Numerical and experimental analysis of heat transfer enhancement and pressure drop characteristics of laminar pulsatile flow in grooved channel with different groove lengths	Applied Thermal Engineering	137	5	632-643	2018	4
Kim, J. Suh, J. Choi, Y. Lee, K. Kanemoto, T. Kim, J.	Optimized Blade Design of Counter-Rotating-Type Pump-Turbine Unit Operating in Pump and Turbine Modes	International Journal of Rotating Machinery	2018		DOI: 10.1155/201816060780	2018	4
Yasunaga, T. Noguchi, T. Morisaki, T. Ikegami, Y.	Basic Heat Exchanger Performance Evaluation Method on OTEC	Journal of Marine Science and Engineering	6	2	32	2018	4
Ohto, K. Murashima, H. Morisada, S. Kawakita, H. Wenzel, M. Weigand, J. Gloe, K.	Extractive Separation of Trivalent Rare Earths Metal Ions with Phenylphosphoric Acid Type of Trident Molecule for Rare Metal Recovery	International Journal of the Society of Materials Engineering for Resources	23	1	36-41	2018	4
Masuya, S. Kasu, M.	Dislocations in chemical vapor deposition (111) single crystal diamond observed by synchrotron X-ray topography and their relation with etch pits	Diamond and Related Materials		90	40-46	2018	4
Niloy, S. Chandra, N. Kasu, M.	Band Alignment of Al2O3 Layer Deposited NO and SO2	Physica. Status Solidi, A	18		1800237	2018	4

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
Myint, W.P. Hagihara, S. Tanaka, T. Taketomi, S. Tadano, Y.	Application of Finite Element Method to Analyze the Influences of Process Parameters on the Cut Surface in Fine Blanking Processes by Using Clearance-Dependent Critical Fracture Criteria	Journal of Manufacturing and Materials Processing	2	2	26	2018	4
Ohto, K. Yoshinaga, T. Furugou, H. Morisada, S. Kawakita, H. Inoue, K.	Silver Extraction with Sulfide Type Trident Compounds	Solvent Extraction Research and Development, Japan	25	2	71-78	2018	5
Kurniawan, Y. S. Sathuluri, R. R. Iwasaki, W. Morisada, S. Kawakita, H. Ohto, K. Miyazaki M. Jumina	Microfluidic reactor for Pb(II) ion extraction and removal with amide derivative of calix[4]arene supported by spectroscopic studies	Microchemical Journal		142	377-384	2018	5
Kobwittaya, K. Y. Oishi, K. Torikai, T. Yada, M. Watari T.	Upconversion luminescence of ZnO-TiO ₂ :Ho ³⁺ /Yb ³⁺ phosphor powder	Materials Science Forum		922	32-39	2018	5
Kim, J. Morisada, S. Kawakita, H. Ohto, K.	Comparison of interfacial behavior and silver extraction kinetics with various types calix[4]arene derivatives at heterogeneous liquid-liquid interfaces	Journal of Chromatography A		1558	107-114	2018	6
Liu, P. Jung, H. Murakami, T. Kanemoto	Scale Effect and Undersea Noise of Counter-Rotating Propellers Installed in Tidal Stream Power Unit	IOP Conf. Series: Earth and Environmental Science	163	012043	1-6	2018	7

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
谷口友基 平尾春華 國分健太郎 二村正 石田茂資 藤原敏文 井上俊司	一点緊張係留された並進動揺型 波力発電装置に関する研究	日本船舶海洋 工学会論文集	27			2018	8
Kasu, M. Abdu, J. Hara, S. Chiba, Y. Masuda, A.	Temperature dependence measurements and performance analyses of high-efficiency interdigitated back-contact, passivated emitter and rear cell, and silicon heterojunction photovoltaic modules	Japanese Journal of Applied Physics 57, 08RG18 (2018).	57	08	08RG18	2018	8
Fujiwara, Y. Muta, R. Sato, K. Haramura, H. Yamada, Y. Hanamoto, T.	A γ -Fluoro- β -acetoxypentyl sulfonium salt as an equivalent of a (fluoromethyl) vinyl sulfonium salt: reagent for the facile synthesis of monofluoromethylated cyclopropanes and aziridines	Synlett	29	18	2372	2018	10
高尾学 山田航平 奥原真哉 木上洋一 永田修一 瀬戸口俊明	波力発電用二重反転衝動タービンに関する研究（性能に及ぼす 中間羽根の影響）	ターボ機械	46	11	692- 698	2018	11
檜澤秀木	諫早湾干拓紛争は、なぜ今まで 続いているのか	法学セミナー	63	11	14-18	2018	11
Shiotani, S. Tabeta, S. Ishida, S.	Site selection for floating offshore wind turbines in Japanese coasts by quantitative risk assessment	Journal of Marine Science and Technology	24		997- 1014	2018	12

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
権田 岳 早水 庸隆 坂口 優希 森田 慎一 大塚 茂 高尾 学 木上 洋一 瀬戸口 俊明	波力発電用直線翼垂直軸タービ ン性能に及ぼす案内羽根の影響	ターボ機械	46	12	735- 742	2018	12
Takao, M. Yamada, K. Okuhara, S. Alam, M. M. A. Kinoue, Y. Setoguchi, T.	A Counter-Rotating Impulse Turbine for Wave Energy Conversion	Open Journal of Fluid Dynamics		8	435- 442	2018	12
Matsuda, T. Eishima, T. Goto, T. ugi, T. Morisaki, T. Yasunaga, T. Ikegami, Y.	Water Level Control of After Condenser in a Spray Flash Desalination System Using Stochastic Process	システム制御 情報学会論文 誌	32	1	24-31	2019	1
Liu, Y. Abdelgawad, M. S. Mitsutake, Y. Tsubaki, K. Monde, M.	Inherent Characteristics of Interface Temperature Behavior after Sudden Contact of Liquid and Oxidized Hot Metal Surface	Thermal Science and Engineering	27	1	17-23	2019	1
Sugi, T. Minoda, M. Matsuda, Y. Goto, S. Egashira, N. Oishi, A. Yamasaki, T.	Development of a Non-Contact Nurse Call System by Image Processing of Eye Movement	システム制御 情報学会論文 誌	32	1	16-23	2019	1

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
池田拓郎 後藤和彦 岡真一郎 杉剛直 福田裕樹 後藤純信	閃光刺激による定常型視覚誘発 電位の定量解析：刺激頻度変化 による反応特性の検討	理学療法科学	34	1	41-45	2019	1
井手順子 後藤和彦 杉剛直	3次元動作解析システムの開発 とパーキンソン病患者歩行検査 への適用	西南学院大学 人間科学論集	14	1	233- 248	2019	1
Liang, J. Masuya, S. Kim, S. Oishi, T. Kasu, M. Shigekawa, N.	Stability of diamond Si bonding interface during device fabrication process	Applied Physics Express	12	01	016501	2019	1
Saha, N. C. Kasu, M.	Heterointerface properties of diamond MOS structures studied using capacitance- voltage and conductance- frequency measurements	Diamond and Related Materials	91		219- 224	2019	1
Saha, N. C. Kasu, M.	Improvement of the Al2O3/NiO/H-diamond MOS FET by using Au gate metal and its analysis	Diamond and Related Materials	92		81-85	2019	2
Adiputra, R. Utsunomiya, T. Koto, T. Yasunaga, T. Ikegami, Y.	Preliminary design of a 100 MW-net ocean thermal energy conversion (OTEC) power plant study case: Mentawai island, Indonesia	Journal of Marine Science and Technology			1-21	2019	2
木上洋一 一ノ瀬賢太 塩見憲正 瀬戸口俊明	減速流れにおける NACA65 翼まわ りの三次元はく離に及ぼす迎え 角の影響	ターボ機械	47	2	81-90	2019	2

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
Oshima, Y. Kawara, K. Shinohe, T. Hitora, T. Kasu, M. Fujita, S.	Epitaxial lateral overgrowth alpha-Ga203 by Halide Vapor Epiaxy	APL Mater	7	0225 03		2019	2
熊谷聡 林信行 井上誠一 モハマド・T・ ユリアンシャ ー 野中壯泰 平島剛	種々のリグノセルロース系パイ オマスの水熱炭化処理による均 質化固体燃料生産	木質炭化学会 誌	15	2	56-63	2019	2
Kurniawan, Y. S. Sathuluri, R. R. Ohto, K. Iwasaki, W. Kawakita, H. Morisada, S. Miyazaki, M. Jumina, J.	A rapid and efficient lithium-ion recovery from seawater with tripropylmonoacetic acid calix[4]arene derivative employing droplet-based microreactor system	Separation and Purification Technology	211	18	925- 934	2019	3
潘俊秀 黄晗 卞永宁 张峰阁 有马博史	改进型 Kalina 海洋温差能发电 循环模型的建立及热力性能分	可再生能源	37	3	469- 474	2019	3
Jung, H. Kanemoto, T. Liu, P. Murakami, T.	A Numerical Study on Performance Improvement of Counter-Rotating Type Tidal Stream Power Unit	IOP Conference Series: Earth and Environmental Science	240	0520 13	1-5	2019	3

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
Samura, T. Kawashima, R. Oda, R. Imakyurei, T. Inoue, H. Tokunaga, Y. Kanamoto, T. Miyagawa, K. Miwa, T. Yamanokuchi, H.	Counter-Rotating Type Tidal Stream Power Unit: Excellent Performance Verified at Offshore Test	IOP Conference Series: Earth and Environment Science	240	052003	5	2019	3
Matsuda, Y. Tagami, N. Sugi, T. Goto, S. Egashira, N.	Teleoperation system for a mobile robot arm with visual servomechanism based on turning radius determination using angle information of image	Artificial Life and Robotics	24	1	106-113	2019	3
Bian, Y. Pan, J. Liu, Y. Zhang, F. Yang, Y. Arima, H.	Performance analysis of a combined power and refrigeration cycle	Energy Conversion and Management	185		259-270	2019	4
Hayashi, N. Shoubayashi, Y. Kondo, N. Fukudome, K.	Hydrothermal processing of b-glucan from Aureobasidium pullulans produces a low molecular weight reagent that regulates inflammatory responses induced by TLR ligands	Biochemical and Biophysical Research Communications	511	2	318-322	2019	4

国際会議 Proceedings

著者	題名	会議名	年	月	場所
Ishida, S. Imai, Y. Kusaba, Y.	Experimental Study on New Spar Design for Floating Offshore Wind Turbine	Grand renewable energy 2018	2018	6	Yokohama (Japan)
Imai, Y. Nagata, S. Murakami, T. Ishida, S.	Characteristics of a Synchronous Generator on Wave Energy Converter	Grand renewable energy 2018	2018	6	Yokohama (Japan)
Akimoto, H. Senga, H. Imai, Y. Hara, Y.	Towing experiments of the flexibly supported vertical axis tidal current turbine	Grand renewable energy 2018	2018	6	Yokohama (Japan)
Ikegami, Y. Yasunaga, T. Morisaki, T. Baba, S. Miyazaki, T. Hyakudome, T. Yoshida, H.	Estimation of thermal energy conversion system using submarine hydrothermal	Grand renewable energy 2018	2018	6	Yokohama (Japan)
Yasunaga, T. Koyama, N. Noguchi, T. Morisaki, T. Ikegami, Y.	Thermodynamical optimum heat source mean velocity in heat exchangers on OTEC	Grand renewable energy 2018	2018	6	Yokohama (Japan)
Yasunaga, T. Morisaki, T. Ikegami, Y.	Theoretical effectiveness of the multi temperature level cycles considering irreversibility in heat transfer on OTEC	Grand renewable energy 2018	2018	6	Yokohama (Japan)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Liu, P. Jung, H. Murakami, T. Kanemoto, T. Inagaki, M.	Undersea Noise and Scale Effect of Counter-rotating Propellers in Tidal Stream	the Twenty-eighth (2018) International Ocean and Polar Engineering Conference	2018	6	Sapporo (Japan)
Matsuda, Y. Eishima, Y. Goto, S. Sugi, T. Morisaki, T. Yasunaga, T. Ikegami, Y.	Construction of Water Level Model for After Condenser in Spray Flash Desalination System via Stochastic Process	the 49th ISCIE International Symposium on Stochastic Systems Theory and Its Applications	2018	6	Kyoto (Japan)
Baba, R. Sugi, T. Matsuda, Y. Goto, S. Yamasaki, T. Oishi, A. Egashira, N.	Eye Movement Detection Using EOG for Communication of People with Disabilities	the 49th ISCIE International Symposium on Stochastic Systems Theory and Its Applications	2018	6	Kyoto (Japan)
Kogure, T. Shiino, T. Sugi, T. Shirakawa, S.	Validation of a Sheet-Shaped Body Vibrometer for Heart Rate and Respiratory Rate Measurements	the 9th Congress of Asian Sleep Research Society	2018	7	Sapporo (Japan)
Hagihara, S. Kai, C. Takenaka, T. Taketomi, S. Tadano, Y. Tanaka, S.	Behavior and Structural Analyses of Floating Structures using Smoothed Particle Hydrodynamics Method	13th World Congress on Computational Mechanics and 2nd Pan American Congress on Computational Mechanics	2018	7	New York City (USA)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Myint, P.W. Hagihara, S. Tanaka, T. Taketomi, S. Tadano, Y.	Determination of fracture initiation of cut surface for punching press process using ductile fracture criteria	9th International Conference on Computational Methods	2018	7	Rome (Italia)
Tadano, Y. Hagihara, S.	Assessment of nodal integration for meshfree analysis of higher-order gradient crystal plasticity	9th International Conference on Computational Methods	2018	7	Rome (Italia)
Matsuda, Y. Sakai, R. Sugi, T. Goto, S. Morisaki, T. Yasunaga, T. Ikegami, Y.	Anti-windup Compensation for Water Level Control of a Spray Flash Desalination System with Flow Rate Limitations	2nd IEEE Conference on Control Technology and Applications	2018	8	Copenhagen (Denmark)
Nagata, S. Imai, Y. Murakami, T. Okubo, S. Okamoto, Y.	Application of Vortex Method to performance Analysis of Wave Energy Converter: Vorticity Creation Method from the boundary	the 4th Asian Wave and tidal Energy Conference	2018	9	Taipei (Taiwan)
Imai, Y. Nagata, S. Murakami, T.	Conversion characteristics of permanent magnet synchronous generator on wave energy converter	the 4th Asian Wave and tidal Energy Conference	2018	9	Taipei (Taiwan)
Takao, M. Fukuma, S. Md, M. Alam, M.M.A. Kinoue, Y. Nagata, S. Setoguchi, T.	Performance Prediction of Impulse Turbine for Wave Energy Conversion – Effect of Simple Cascade on the Performance	the 4th Asian Wave and tidal Energy Conference	2018	9	Taipei (Taiwan)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Arima, H. Matsuda, S. Inadomi, R. Suga, Y. Yamamoto, K.	Heat transfer characteristic of a heat exchanger using aluminum alloy plate for OTEC	6th International OTEC Symposium	2018	9	Okinawa (Japan)
Murakami, T. Imai, Y. Nagata, S. Takao, M. Setoguchi, T. Kanemoto, T.	Primary and Secondary Conversion Efficiencies of a Fixed Oscillating Water Column-Type Wave Energy Converter with Generator;	Conference on Modelling Fluid Flow	2018	9	Budapest (Hungary)
Kinoue, Y. Shiomi, N. Takao, M. Murakami, T. Imai, Y. Nagata, S.	Effect of Hub-to-Tip Ratio on the Performance of Bi-directional Impulse Turbine with Flow Collector	29th IAHR Symposium on Hydraulic Machinery and Systems	2018	9	Kyoto (Japan)
Takao, M. Yamada, K. Sasaki, R. Alam, M.M.A. Okuhara, S. Kinoue, Y.	A Study of Counter-rotating Impulse Turbine for Wave Energy Conversion - Effect of Middle Vane on the Performance	29th IAHR Symposium on Hydraulic Machinery and Systems	2018	9	Kyoto (Japan)
Sakaguchi, M. Hayamizu, Y. Gonda, T. Morita, S. Ootsuka, S. Takao, M. Kinoue, Y. Setoguchi, T.	A Straight-bladed Vertical Axis Turbine for Wave Energy Conversion: Effect of Guide Vane Position on the Performance	29th IAHR Symposium on Hydraulic Machinery and Systems	2018	9	Kyoto (Japan)
Takao, M. Fukuma, S. Okuhara, S. Alam, M.M.A. Kinoue, Y. Setoguchi, T.	Performance Comparison of Turbines for Bi-directional Flow	29th IAHR Symposium on Hydraulic Machinery and Systems	2018	9	Kyoto (Japan)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Okuhara, S. Itoga, M. Alam, M. M. A. Takao, M. Kinoue, Y.	Performance of Fluidic Diode for a Twin Unidirectional Impulse Turbine	29th IAHR Symposium on Hydraulic Machinery and Systems	2018	9	Kyoto (Japan)
Kinoue, Y. Shiomi, N. Sakaguchi, M. Maeda, H. Alam, M. M. A. Okuhara, S. Takao, M.	A Pump System with Wave Powered Impulse Turbine	29th IAHR Symposium on Hydraulic Machinery and Systems	2018	9	Kyoto (Japan)
Ikegami, Y. Yasunaga, T.	Advanced cycles and heat exchangers on OTEC Technology	6th International OTEC Symposium	2018	9	Okinawa (Japan)
Yasunaga, T. Ikegami, Y.	Application of Finite-time Thermodynamics to Simplifying Heat Exchanger Performance Evaluation Method on OTEC	6th International OTEC Symposium	2018	9	Okinawa (Japan)
Matsuda, Y. Sugi, T. Goto, S. Yasunaga, T. Ikegami, Y. Egashira, N.	Current Status of Web-based Simulator and Control System for OTEC Plant Using Double-stage Rankine Cycle	6th International OTEC Symposium	2018	9	Okinawa (Japan)
Matsuda, Y. Sugi, T. Goto, S. Yasunaga, T. Ikegami, Y. Egashira, N.	Current Status of Web-based Simulator and Control System for OTEC Plant Using Double-stage Rankine Cycle	6th International OTEC Symposium	2018	9	Okinawa (Japan)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Sathiabama T. Sthirugnana, S.T. Bakar, A.B. Yasunaga, T. Ikegami, Y.	Hybrid OTEC System - The First Experimental Test Rig in Malaysia	6th International OTEC symposium	2018	9	Okinawa (Japan)
Arima, H. Matsuda, S. Inadomi, R. Suga, Y. Yamamoto, K.	Heat transfer characteristic of a heat exchanger using aluminum alloy plate for OTEC	6th International OTEC Symposium	2018	9	Okinawa (Japan)
Koyama, N. Yasunaga, T. Noguchi, T. Morisaki, T. Ikegami, Y.	Performance Evaluation of the Plate Type Heat Exchanger for OTEC	6th International OTEC Symposium	2018	9	Okinawa (Japan)
Sasaki, K. Yasunaga, T. Morisaki, T. Ikegami, Y.	The Visualization of Plate Heat Exchangers for Ocean Thermal Energy Conversion	6th International OTEC Symposium	2018	9	Okinawa (Japan)
Matsuda, Y. Sugi, T. Goto, S. Yasunaga, T. Ikegami, Y. Egashira, N.	Current Status of Web- based Simulator and Control System for OTEC Plant Using Double-stage Rankine Cycle	6th International OTEC Symposium	2018	9	Okinawa (Japan)
Takao, M. Fukuma, S. Md, M. Alam, M.M.A. Kinoue, Y. Nagata, S. Setoguchi, T.	Performance Prediction of Impulse Turbine for Wave Energy Conversion - Effect of Simple Cascade on the Performance	4th Asian Wave and tidal Energy Conference	2018	9	Taipei (Taiwan)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Samura, I. Kawashima, R. Oda, T. Imakyurei Kanamoto, T. Miyagawa, K. Miwa, T. Yamanokuchi, H.	Counter-Rotating Type Tidal Stream Power Unit: Excellent Performance Verified at Offshore Test	29th IAHR Symposium on Hydraulic Machinery and Systems, IAHR 2018	2018	9	Kyoto (Japan)
Jung, H. Kanemoto, T. Liu, P. Murakami, T.	A Numerical Study on Performance Improvement of Counter-Rotating Type Tidal Power Unit	Conference on Modeling Fluid Flow, CMF18	2018	9	Budapest (Hungary)
Lee, N. Inagaki, M. Kanemoto, T.	Performance of Counter- Rotating Tandem Propellers at Oblique Flow Conditions	Conference on Modeling Fluid Flow, CMF18	2018	9	Budapest (Hungary)
Das, A.K. Sugi, T. Matsuda, Y. Goto, S. Ikeda, A. Nagamine, T. Shibasaki, H.	Judgement of open/closed eye EEG for accurate interpretation of posterior dominant rhythm	The 12th ICME International Conference on Complex Medical Engineering	2018	9	Shimane (Japan)
Sugi, T. Baba, R. Matsuda, Y. Goto, S. Egashira, N. Oishi, A. Yamasaki, T.	Development of new assistant system for VEP recordings	The 12th ICME International Conference on Complex Medical Engineering	2018	9	Shimane (Japan)
Sugi, T. Baba, R. Matsuda, Y. Goto, S. Egashira, N. Oishi, A. Yamasaki, T.	Development of a new communication tool for ALS	The 12th ICME International Conference on Complex Medical Engineering	2018	9	Shimane (Japan)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Matsuda, Y. Oouchida, R. Sugi, T. Goto, S. Morisaki, T. Yasunaga, T. Ikegami, Y.	Simultaneous Regulation of Multiple Flow Rates for Power Generation Control of OTEC Plant Using Double-stage Rankine Cycle	SICE Annual Conference 2018	2018	9	Nara (Japan)
Nagata, S. Imai, Y. Murakami, T. Okubo, S. Okamoto, Y.	Application of Vortex Method to Performance Analysis of Wave Energy Converter: Vorticity Creation Method from the Boundary	AWTEC2018	2018	9	Taipei (Taiwan)
Ohito, E. Ryu, M. Kurniawan, Y. S. Sathuluri, R. R. Morisada, S. Kawakita, H. Iwasaki, W. Miyazaki, M. Jumina, J.	Separation of Pb(II) Ion with Tetraacetic Acid Derivative of Calix[4]arene by using Droplet-based Microreactor System	7th INTERNATIONAL CONFERENCE ON ION EXCHANGE 2018 (7th ICIE 2018)	2018	9	Yogyakarta (Indonesia)
Kasu, M. Fujii, D. Masuya, S. Oishi, T. Kim, S.	Diamond field-effect transistors fabricated on high-quality heteroepitaxial diamond wafers treated by chemical mechanical polishing technology	International Conference Diamond and Carbon Materials (ICDCM) 2018	2018	9	Dubrovnik (Croatia)
Saha, N. C. Takahashi, K. Imamura, M. Kasu, M.	Energy band alignment of Al ₂ O ₃ /N ₂ O/H-diamond and Al ₂ O ₃ /SO ₂ /H-diamond heterointerfaces determined by synchrotron XPS/UPS/XANES measurements	International Conference Diamond and Carbon Materials (ICDCM) 2018	2018	9	Dubrovnik (Croatia)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Saha, N. C. Kasu, M.	Improvement of performance of NO ₂ -doped H-diamond FET by using Au gate metal	International Conference Diamond and Carbon Materials (ICDCM) 2018	2018	9	Dubrovnik (Croatia)
Yasunaga, T. Ikegami, Y.	Exergy Distraction in Heat Transfer on Low-grade Thermal Energy Conversion (LTEC) System: A Case of Plate Type Heat Exchangers	5th International Conference, Low Temperature and Waste Heat Use in Energy Supply Systems	2018	10	Bremen (Germany)
Shiomi, N. Kinoue, Y. Setoguchi, T.	Changes of Performance and Flow Fields of Semi-opened Propeller Fan Installed in Narrow Space	29th International Symposium on Transport Phenomena	2018	10	Honolulu (USA)
Nagata, S. Kinoue, Y. Shiomi, N. Setoguchi, T.	Experimental Investigations on the Separated Flow around Circular Arc and NACA 65 Stator in Diagonal Flow Fan	29th International Symposium on Transport Phenomena	2018	10	Honolulu (USA)
Takao, M. Sasaki, R. Alam, M. M. A. Okuhara, S. Kinoue, Y.	Development of a counter-rotating impulse turbine for bi-directional airflow	3rd International Conference on Renewable Energies Offshore	2018	10	Lisbon (Portugal)
Shoieb, M. Yoshijima, M. Yoshida, K. Matsuo, S. Tsubaki, K. Mitsutake, Y.	Simulation study of metal hydride intermediate buffer purification method of reformed crude hydrogen gas	16th International Symposium on Metal-Hydrogen Systems	2018	11	Guangzhou (China)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Shoieb, M. Yoshijima, M. Yoshida, K. Matsuo, S. Tsubaki, K. Mitsutake, Y.	Influence of mixing metal powders on thermal conductivity and inverse permeability of metal hydride systems	16th International Symposium on Metal-Hydrogen Systems	2018	11	Guangzhou (China)
Kanemoto, T. Inagaki, M. Samura, I. Nakanishi, Y.	Counter-Rotating Type Power Units Playing Outstandingly at On-and-Off Shore Plants	20th International Seminar on Hydropower Plants	2018	11	Vienna (Austria)
Kanemoto, T. Otsubo, T. Inagaki, M. Hitachi, R. Kato, M.	Performance evaluation of Unique Vortex Pump	7th Asian Joint Workshop on Thermodynamics and Fluid Science, AJWT7	2018	11	Delhi (India)
Ryu, M Kurniawan, Y. S. Iwasaki, W. Morisada, S. Kawakita, H. Ohto, K.	Evaluation of factors related to the Pb(II) mass transfer phenomenon using a droplet microreactor	2nd Tri-U symposium (The 12th Soochow University-Daegu University -Saga University Joint Seminar)	2018	11	Saga (Japan)
Fukuda, Y. Hanamoto, T.	Cross-coupling reaction of β -bromo- β -CF ₃ -vinyl sulfide	2018 The 2nd Tri-U Soochow-Saga-Daegu University International Joint Symposium (Tri-U 2018)	2018	11	Saga (Japan)
Kasu, M. Katagiri, E. Fujita, S. Sasaki, K. Kawasaki, K. Hirabayashi, J. Kuramata, A. Oishi, T.	Crystal defects which relate with leakage current of HVPE (001) b-Ga ₂ O ₃ Schottky barrier diodes	Materials Research Society 2018 Fall Meeting	2018	11	Boston and Massachusetts (USA)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Saha, N. C. Takahashi, K. Masuya, S. Imamura, M. Kasu, M.	The Interface properties of Al ₂ O ₃ /NO ₂ /H-diamond in MOSFET structure studied by capacitance and conductance and synchrotron XPS/XANES measurements	Materials Research Society 2018 Fall Meeting	2018	11	Boston and Massachusetts (USA)
Baba, R. Sugi, T. Matsuda, Y. Goto, S. Yamasaki, T. Oishi, A. Egashira, N.	Extraction of Eye Movements for a Communication System by EOG Signal Using DC Amplifier	the 50th ISCIE International Symposium on Stochastic Systems Theory and Its Applications	2018	11	Kyoto (JAPAN)
Yu, D. Morisada, S. Kawakita, H. Ohto, K. Inoue, K. Song, X.	Selective adsorption behavior of cesium ion on crosslinked tea leaves	The 1st International Co-operative Seminar of Post-graduate Program for Global Advancement	2018	12	Saga (Japan)
Christen, M. Tanaka, T. Morisada, S. Kawakita, H. Ohto, K.	Synthesis of 2-ethylhexylphosphonic acid methylbenzyl ester	The 1st International Co-operative Seminar of Post-graduate Program for Global Advancement	2018	12	Saga (Japan)
Ryu, M. Kurniawan, Y. S. Iwasaki, W. Morisada, S. Kawakita, H. Ohto, K.	Investigation of mass transfer phenomenon at liquid-liquid extraction by using a droplet-based microreactor	The 1st International Co-operative Seminar of Post-graduate Program for Global Advancement	2018	12	Saga (Japan)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Myint, P.W. Hagihara, S. Tanaka, T. Taketomi, S. Tadano, Y.	Comparative Study on the Fracture Initiation Predictive Capability of Uncoupled Ductile Fracture Models and Damage Mechanics Based Models in Punching Process	The Ninth International Conference on Science and Engineering	2018	12	Yangon (Myanmar)
Goto, K. Sugi, T. Ikeda, T. Yamasaki, T. Tobimatsu, S. Goto, Y.	Characteristics of brain activity under combination of optic flow and binocular disparity stimulus by using LORETA analysis for visual evoked potentials	The Twenty-Fourth International Symposium on Artificial Life and Robotics 2019 (AROB 24th 2019)	2019	1	Beppu (Japan)
Sato, Y. Matsuda, Y. Sugi, T. Goto, S. Egashira, N.	Development of an autonomous control system for object gripping by mobile manipulator based on image processing	The Twenty-Fourth International Symposium on Artificial Life and Robotics 2019 (AROB 24th 2019)	2019	1	Beppu (Japan)
Liu, P. Murakami, T. Jung, H. Kanemoto, T.	Counter-Rotating type Power Unit Moored with One Cable in Tidal Stream	The 2019 Japan-China-Korea Hydraulic Machines Workshop	2019	11	Kushiro (Japan)

国内学会発表

著者	題名	会議名	年	月	場所
石田茂資 今井康貴 草場友莉	スパー型洋上風力発電施設の形状改良に関する模型実験	日本船舶海洋工学会平成 30 年 春季講演会論文 集	2018	5	大阪
安永健 小山夏生 野口貴史 森崎敬史 池上康之	OTEC での熱力学的観点からの熱交換器の基礎特性	第 23 回動力・エネルギー技術シンポジウム	2018	6	宇部
池上康之 安永健 森崎敬史 佐々木究	低熱源温度差発電に用いるプレート式熱交換器における蒸発現象の可視化	第 23 回動力・エネルギー技術シンポジウム	2018	6	宇部
福間清祐 高尾学 奥原 真哉 Alam, M. M. A. 木上洋一 瀬戸口俊明	往復流型タービンの性能予測	日本機械学会第 23 回動力・エネルギー技術シンポジウム講演	2018	6	宇部
奥原真哉 糸賀雅人 高尾学 Alam, M. M. A. 木上洋一	波力発電用流体ダイオードの実験的研究	日本機械学会第 23 回動力・エネルギー技術シンポジウム講演	2018	6	宇部
江頭成人 後藤聡 杉剛直 松田吉隆 安永健 池上康之	2 段ランキンサイクルを用いた海洋温度差発電プラントシミュレータの遠隔制御	第 23 回動力・エネルギー技術シンポジウム講演	2018	6	宇部

著者	題名	会議名	年	月	場所
萩原世也 甲斐千尋 竹中大輝 武富紳也 只野裕一 田中智行	SPH 法による海洋構造物の挙動と構造の解析	第 23 回計算工学講演会	2018	6	愛知
只野裕一 萩原世也	高次勾配結晶塑性メッシュフリー解析における節点積分に関する検討	第 23 回計算工学講演会	2018	6	愛知
瀧脇菜子 森貞真太郎 川喜田英孝 大渡啓介	新規三脚状抽出試薬によるアルミニウム族金属の抽出分離	第 55 回化学関連支部合同九州大会	2018	6	北九州
龍美月 Kurniawan, Y. S. Sathuluril, R. R. 岩崎渉 森貞真太郎 川喜田英孝 大渡啓介 真栄城正寿 宮崎真佐也 Jumina, J.	液滴マイクロリアクターを用いたカリックスアレーン四酢酸による鉛(II)イオンの除去	第 55 回化学関連支部合同九州大会	2018	6	北九州
福田優衣 藤原夕莉 池田源己 牟田龍平 中村祐輝 花本猛士	β -ブromo- β -CF ₃ -ビニルスルフィドの選択的合成と反応	第 55 回化学関連支部合同九州大会	2018	6	北九州
藤原夕莉 牟田龍平 花本猛士	β -CH ₂ H-ビニルスルホニウム塩等価体の合成と反応	第 55 回化学関連支部合同九州大会	2018	6	北九州
河原諒治 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 木暮貴政 椎野俊秀 白川修一郎	シート型振動計からの主成分分析を用いた呼吸・心拍情報の抽出	日本睡眠学会第 43 回定期学術集会	2018	7	札幌

著者	題名	会議名	年	月	場所
佐藤太亮 森貞真太郎 川喜田英孝 大渡啓介	白金選択的回収のための工業用ジアミド方抽出試薬の開発	第 36 回九州分析化学若手の会 夏季セミナー	2018	7	熊本
坂村僚太 森貞真太郎 川喜田英孝 大渡啓介	セルロースナノファイバーと藻類吸着剤による貴金属吸着	第 36 回九州分析化学若手の会 夏季セミナー	2018	7	熊本
岡本豊 永田修一 今井康貴 新里英幸	渦層モデルを用いた二次元渦法による円柱周りの流場解析	第 27 回海洋工学シンポジウム	2018	8	熊本
竹中大輝 萩原世也 武富紳也 只野裕一 田中智行	δ -SPH 法による海洋浮体構造物の挙動の解析	第 15 回海洋エネルギーシンポジウム 2018	2018	8	佐賀
一ノ瀬賢太 木上洋一 塩見憲正	減速流れにおける NACA65 翼まわりの 3 次元はく離に関する研究	日本機械学会九州支部北九州講演会	2018	9	北九州
阪井亮一 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 安永健 池上康之	スプレーフラッシュ蒸発式海水淡水化システムの真空ポンプを考慮したシミュレーションモデルの改良	平成 30 年度(第 71 回)電気・情報関係学会九州支部連合大会	2018	9	大分
青崎祐也 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 安永健 池上康之	2 段ランキンサイクルを用いた海洋温度差発電プラントのむだ時間を考慮した動的モデルの構築	平成 30 年度(第 71 回)電気・情報関係学会九州支部連合大会	2018	9	大分
大内田陸 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 安永健 池上康之	2 段ランキンサイクルを用いた海洋温度差発電プラントの温海水温度の変動を考慮した発電量制御の改善	平成 30 年度(第 71 回)電気・情報関係学会九州支部連合大会	2018	9	大分

著者	題名	会議名	年	月	場所
大渡啓介 橋口正宏 佐藤太亮 上田祐生 森貞真太郎 川喜田英孝 近江健太郎	フッ素を導入したアミド型抽出試薬による貴金属の抽出	化学工学会第50回秋季大会	2018	9	鹿児島
肥後瑠射 Priastomo, Y. 森貞真太郎 川喜田英孝 大渡啓介	アミノ基をアップーリムに導入したカリックス[4]アレーン誘導体による貴金属の抽出	化学工学会第50回秋季大会	2018	9	鹿児島
山本真士 森貞真太郎 川喜田英孝 大渡啓介	ホスホン酸系抽出試薬による希土類金属の抽出分離	化学工学会第50回秋季大会	2018	9	鹿児島
榎谷聡士 嘉数誠	シンクロトロンX線トポグラフィーによるCVDダイヤモンドホモエピ膜の欠陥の観察	2018年第79回応用物理学会秋季学術講演会	2018	9	名古屋
木村豊 金聖祐 榎谷聡士 大山幸希 池尻憲次朗 嘉数誠	ヘテロエピタキシャルダイヤモンド基板の化学機械平坦化(CMP)処理による電気特性の評価	2018年第79回応用物理学会秋季学術講演会	2018	9	名古屋
梁剣波 榎谷聡士 藤居大樹 金聖祐 嘉数誠 重川直輝	Siと接合したダイヤモンド基板上のFETの作製	2018年第79回応用物理学会秋季学術講演会	2018	9	名古屋
大石敏之 鴨川拓弥 嘉数誠	DCストレス後のダイヤモンドMOSFET特性のデバイスシミュレーションによる解析	2018年第79回応用物理学会秋季学術講演会	2018	9	名古屋
片桐英鉄 佐々木公平 川崎克己 平林潤 倉又朗人 嘉数誠	HVPE (001) β -Ga ₂ O ₃ ショットキーバリアダイオードのエミSSIONスポットの観察	2018年第79回応用物理学会秋季学術講演会	2018	9	名古屋

著者	題名	会議名	年	月	場所
大内田陸 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 安永健 池上康之	2 段ランキンサイクルを用いた海洋温度差発電プラントの温海水温度の変動を考慮した発電量制御の改善	平成 30 年度(第 71 回)電気・情報関係学会九州支部連合大会	2018	9	大分
木上洋一 塩見憲正 坂口優希 前田英昭 Alam, M. M. A. 奥原真哉 高尾学	往復流型衝動タービンを用いた波動ポンプの開発	第 80 回ターボ機械協会（東北）学術講演会	2018	10	仙台市
奥原真哉 高尾学 Alam, M. M. A. 木上洋一	波力発電用ツイン衝動型タービンの性能に及ぼす流体ダイオードの影響	第 80 回ターボ機械協会（東北）学術講演会	2018	10	仙台市
藤原夕莉 牟田龍平 佐藤慧一 原村浩彰 山田泰教 花本猛士	β -CFH ₂ -ビニルスルホニウム塩等価体の合成と CFH ₂ 含有三員環への展開	第 41 回フッ素化学討論会（弘前）	2018	10	弘前
福田優衣 藤原夕莉 池田源己 菊村拓己 迫田紗紀 中村祐輝 山田泰教 花本猛士	β -プロモ- β -ビニルスルフィドの合成化学的利用	第 41 回フッ素化学討論会（弘前）	2018	10	弘前
佐々木倫太郎 高尾学 奥原真哉 Alam, M. M. A. 木上洋一	往復流型二重反転衝動タービン（可変ピッチ案内羽根による性能改善）	日本機械学会第 96 期流体工学部門講演会	2018	11	室蘭市
福間清祐 高尾学 奥原真哉 佐々木倫太郎 Alam, M. M. A. 木上洋一	ウエルズタービンに関する研究（往復流型二重反転衝動タービンによる性能改善）	日本機械学会第 96 期流体工学部門講演会	2018	11	室蘭市

著者	題名	会議名	年	月	場所
光武雄一 門出政則	高温中空ローター試験片の複数ラミナー冷却特性	日本鉄鋼協会生産技術部門第149回圧延理論部会講演会	2018	11	北九州
西田茂人 前川智哉 杉剛直 池田昭夫 長峯隆 松橋眞生 人見健文 柴崎浩	脳波の特徴変化を表現する実時間処理システムの構築	第48回日本臨床神経生理学会学術大会	2018	11	東京
中島大弥 浅山雄基 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 野平晴彦 久保田有一	ICUにおける経時的ビデオ脳波モニタリングの特徴抽出と可視化	48回日本臨床神経生理学会学術大会	2018	11	東京
後藤和彦 杉剛直 池田拓郎 山崎貴男 飛松省三 後藤純信	奥行運動刺激時の視覚誘発電位における運動知覚と奥行き知覚の相互作用	第48回日本臨床神経生理学会学術大会	2018	11	東京
井手順子 後藤和彦 杉剛直	STN-DBSを受けたPD患者歩行運動の評価パラメータの有効性	第48回日本臨床神経生理学会学術大会	2018	11	東京
松田吉隆 杉剛直 後藤聡 安永健 池上康之 江頭成人	2段ランキンサイクルを用いた海洋温度差発電プラント実時間遠隔操作のためのWebアプリケーション開発	第61回自動制御連合講演会	2018	11	名古屋
佐藤義孝 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 江頭成人	移動型マニピュレータによる物体把持のための画像処理に基づく制御システムの開発	第37回計測自動制御学会九州支部学術講演会	2018	11	沖縄

著者	題名	会議名	年	月	場所
大内田陸 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 安永健 池上康之	ランキンサイクルを用いた海洋温度差発電プラントの気液分離器を考慮した動的モデルの構築	第 37 回計測自動制御学会九州支部学術講演会	2018	11	沖縄
田上昇 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 藤井道博	ゲート作動状態判定システムの河川データをを用いた評価	第 37 回計測自動制御学会九州支部学術講演会	2018	11	沖縄
大渡啓介 黒岩春乃 森貞真太郎 川喜田英孝	カリックスアレーン誘導体によるアルカリ金属の抽出に及ぼす未脱水和水の効果	第 36 回溶媒抽出討論会	2018	11	京都
Yu, D. Morisada, S. Kawakita, H. Ohto, K. Inoue, K.	Selective cesium adsorptive removal on crosslinked tea leaves	第 31 回イオン交換セミナー	2018	11	東京
福田雅之 竹中大輝 萩原世也 田中智行 武富紳也 只野裕一	粒子法による浮体構造物の挙動解析	第 31 回計算力学講演会講演	2018	11	徳島
葉山裕 穴戸信之 諸岡航 萩原世也 宮崎則幸	パワーモジュール用ワイヤ接合部熱疲労強度の破壊力学パラメータによる評価	第 31 回計算力学講演会講演	2018	11	徳島
只野裕一 萩原世也	高次勾配結晶塑性メッシュフリー解析における数値積分手法に関する検討	第 31 回計算力学講演会講演	2018	11	徳島
谷口俊樹 武富紳也 萩原世也	ナノインデンテーション法を用いた S25C フェライト相の塑性変形挙動へ与える水素濃度の影響評価	日本機械学会 M&M2018	2018	12	福井

著者	題名	会議名	年	月	場所
中島大弥 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 野平晴彦 久保田有一	経時的ビデオ脳波モニタリングにおける発作波の特徴抽出	ME とバイオサイバネティクス研究会	2019	1	佐賀
浅山雄基 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 野平晴彦 久保田有一	ICU における経時的脳波記録に対する異常波の総合判定	ME とバイオサイバネティクス研究会	2019	1	佐賀
山口峻 後藤和彦 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 池田拓郎 山崎貴男 飛松省三 後藤純信	視覚誘発電位実時間評価システムを含んだ記録環境の構築	ME とバイオサイバネティクス研究会	2019	1	佐賀
馬場亮輔 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 江頭成人 大石文芽 山崎貴男	DC アンプを利用した眼電図による意思伝達装置開発のための眼球運動特徴解析	ME とバイオサイバネティクス研究会	2019	1	佐賀
龍美月 田中甫尚 岩崎渉 山下健一 大渡啓介	マイクロリアクターによる抽出速度を決定する因子の検証と金属回収	第 21 回連携大学院交流セミナー	2019	1	佐賀
奥野 智也 小山夏生 安永健 池上康之	ハイブリッドサイクルを用いた海洋温度差発電の性能解析	機械学会九州支部九州学生会第 50 回学生員卒業研究発表講演会	2019	3	佐賀

著者	題名	会議名	年	月	場所
矢山大智 佐々木究 安永健 池上康之	高圧用インナーフィン型プレート式熱交換器の性能評価	機械学会九州支部九州学生会第50回学生員卒業研究発表講演	2019	3	佐賀
重永裕大 有馬博史	アルミ製伝熱面をもつプレート式凝縮器における水蒸気の凝縮熱伝達に関する研究	日本機械学会九州支部九州学生会第50回学生員卒業研究発表講演会	2019	3	佐賀
秋山龍太 有馬博史	FC72を用いたプレート式蒸発器における単一キャビティからの核沸騰の可視化に関する研究	日本機械学会九州支部九州学生会第50回学生員卒業研究発表講演会	2019	3	佐賀
福岡清祐 高尾学 奥原真哉 Alam, M. M. A. 木上洋一	ブースターを有するウエルズタービンの性能解析（案内羽根の効果）	日本機械学会第57期中国四国支部総会・講演会講演	2019	3	山口
河原諒治 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 豊田彩織 椎野俊秀 木暮貴政 白川修一郎	シート型体振動計から得られた体動・心拍・呼吸情報と睡眠段階との関連	2019年日本生体医工学会九州支部学術講演会	2019	3	福岡
井上諒 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 野平晴彦 馬瀬隆造	簡易脳波記録支援のための少電極による脳波特徴判定	2019年日本生体医工学会九州支部学術講演会	2019	3	福岡
山口峻 後藤和彦 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 池田拓郎 山崎貴男 飛松省三 後藤純信	主成分分析を用いた単一試行視覚誘発電位反応の有無推定	2019年日本生体医工学会九州支部学術講演会	2019	3	福岡

著者	題名	会議名	年	月	場所
大内田陸 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 安永健 池上康之	2 段ランキンサイクルを用いた海洋温度 差発電プラントの作動流体ポンプの動 特性を考慮した簡易動的モデルの構築	第 6 回計測自動 制御学会制御部 門マルチシンポ ジウム	2019	3	熊本
青崎祐也 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 安永健 池上康之	2 段ランキンサイクルを用いた海洋温度 差発電プラントのむだ時間を考慮した 簡易動的モデルにおける海水流量変化 の影響	第 6 回計測自動 制御学会制御部 門マルチシンポ ジウム	2019	3	熊本
于丹 森貞真太郎 川喜田英孝 大渡啓介	Adsorption behavior of alkali metal ions on crosslinked tea leaves	化学工学会 第 84 年会	2019	3	東京
佐藤太亮 森貞真太郎 川喜田英孝 近江健太郎 大渡啓介	白金の選択的回収を目的とした工業用 ジアミド型抽出試薬の開発と抽出機構 の解明	化学工学会 第 84 年会	2019	3	東京
Chandra, N. Saha, N. C. Takahashi, K. Imamura, M. Kasu, M.	Energy band alignment of Al2O3/Air/H-diamond heterointerface determined by synchrotron x-ray photoelectron spectroscopy	2019 年第 66 回 応用物理学会春 季学術講演会	2019	3	東京
佐藤梨都子 千葉恭男 近松真之 吉田郵司 嘉数誠 當摩哲也 増田淳	有機薄膜太陽電池の準安定性に影響を 与える温度の検討	2019 年第 66 回 応用物理学会春 季学術講演会	2019	3	東京
中村祐志 榊谷聡士 嘉数誠 重川直輝 梁剣波	高出力デバイス応用に向けた GaAs/Diamond 直接接合の作製	2019 年第 66 回 応用物理学会春 季学術講演会	2019	3	東京

著者	題名	会議名	年	月	場所
石松裕真 大石敏之 鴨川拓弥 Chandra, N. Saha, N. C. 金聖祐 嘉数誠	ヘテロエピタキシャルダイヤモンド上 サブミクロンゲート MOSFET の高周波特 性	2019 年第 66 回 応用物理学会春 季学術講演会	2019	3	東京
梁劍波 神田進司 榊谷聡士 嘉数誠 重川直輝	パワーデバイス応用に向けたダイヤモ ンド/Cu 直接接合の形成	2019 年第 66 回 応用物理学会春 季学術講演会	2019	3	東京
榊谷聡士 佐々木公平 倉又朗人 小林拓実 千川圭吾 上田修 嘉数誠	シンクロトロン X 線トポグラフィーに よる垂直ブリッジマン成長 β -Ga ₂ O ₃ 単 結晶の欠陥の観察	2019 年第 66 回 応用物理学会春 季学術講演会	2019	3	東京
嘉数誠 片桐英鉄 佐々木公平 川崎克己 平林潤 山腰茂伸 倉又朗人	HVPE (001) β -Ga ₂ O ₃ ショットキーバリ アダイオードのエミSSIONスポット と逆方向リーク電流の関係	2019 年第 66 回 応用物理学会春 季学術講演会	2019	3	東京

資料・解説・論説・研究報告等

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
安庭政明 後藤聡 小柳政文	無動力自動ゲート設備「オートフラップゲート」のIoT活用による作動監視システム開発 -山国川派川中津川 北門第4樋管における実証実験	土木施工	59	7	68-72	2018	7
花本猛士	含フッ素ビニルスルホニウム塩の合成と合成化学的展開	有機合成化学協会誌	76	7	710-721	2018	7
Zhang, F. Bian, Y. Arima, H. Ikegami, Y.	Difference between Experimental and Theoretical Pulsatile Flow in Grooved Channel	佐賀大学海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	23		1-6	2018	10
有馬博史	太陽熱ブースト型 OTEC 用補助蓄熱式熱交換器に関する研究	佐賀大学海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	23		7-16	2018	10
有馬博史 山本康平	アルミプレートを用いたプレート式熱交換器における水蒸気の凝縮熱伝達特性	佐賀大学海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	23		17-25	2018	10
村上天元 今井康貴 永田修一 高尾学 瀬戸口俊明	固定式 OWC 型波力発電装置のエネルギー変換効率に及ぼすカーテンウォール没水深の影響	佐賀大学海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	23		33-37	2018	10
樫澤秀木 宮澤俊昭 児玉弘	開門賛成派弁護士インタビュー：馬奈木昭雄、堀良一弁護士に聞く（特集 諫早湾干拓紛争の諸問題：法学と政治学からの分析）	法学セミナー	63	11	19-28	2018	11

西川佳代 宮澤俊昭 樫澤秀木 児玉弘	開門反対派弁護団インタビュー： 山下俊夫、西村広平弁護士に聞 く（特集 諫早湾干拓紛争の諸 問題：法学と政治学からの分 析）	法学セミナー	63	11	29-38	2018	11
安永健 池上康之	海洋温度差発電の特徴と開発動 向	PETROTECH	41	12	979- 983	2018	12
安永健 池上康之	海洋温度差発電の最適設計	日本海水学会誌	73		9-13	2019	2

新聞・テレビ

掲載年月日	タイトル	掲載紙
2018. 5. 28	「海洋温度差発電」開発へ 佐賀大など 来年、マレーシアで	日本経済新聞夕刊
2018. 6. 13	海洋温度差発電 実用化目指し 佐賀大、マレーシアで研究 来年 4 月から 海水淡水化も開発へ	佐賀新聞
2018. 7. 1	海洋エネルギー研究センター2018 オープンラボ告知	市報まつうら 7月号
2018. 7. 1	海洋エネルギー研究センター施設見学会（告知）	広報伊万里 7月号
2018. 7. 1	海洋エネルギー研究センター2018 オープンラボ告知	市報からつ 7月号
2018. 7. 2	海洋エネルギー研究センター2018 オープンラボ告知	月刊情報誌 it いっと
2018. 7. 1	海洋エネルギー研究センター2018 オープンラボ告知	ならでわ!/情報 あれこれ
2018. 7. 1	海洋エネルギー研究センター2018 オープンラボ告知	muchu!/イベント 情報
2018. 7. 6	海洋エネルギー研究センター2018 オープンラボ告知	Fit ECRU/event information
2018. 7. 23	海洋エネ施設 親子 150 人見学 絵はがき表彰式	佐賀新聞
2018. 7. 27	「地球規模課題解決へ」3 機構が SATREPS 新規 9 件採択	科学新聞
2018. 8	みんなの広場 佐賀大学海洋エネルギー研究センター施設見学会 環境にやさしい海洋エネルギーを知ろう	広報伊万里 8月号
2018. 8. 5	久米島「海洋発電の適地」/住民啓発の初の講座	琉球新報朝刊
2018. 8. 17	JICA/マレーシアの海洋温度差発電の実用化支援/詳細計画査定調査実施	日刊建設工業

2018. 10. 1	風力発電低周波「健康被害恐れ」反対住民団体が抗議/山口県	朝日新聞朝刊
2018. 10. 6	海外研究者迎え 集い 沖縄ハワイ海洋エネルギー協力	沖縄タイムス
2018. 10. 31	海洋温度差発電、日本とパイロット事業を計画=エネルギー省-インドネシア	アジアビジネス 情報(時事通信)
2018. 11. 1	海洋温度差発電所の建設、日伊政府が協力	NNA ASIA ニュース
2018. 11. 6	久米島とテレビ電話交流 東山代小 海洋温度差発電施設 縁に	佐賀新聞
2018. 11. 14	海洋温度差発電 普及に弾み/ 安倍内閣が法案閣議決定 海の再生可能エネ活用で	空調タイムス
2018. 12. 20	佐賀大の海洋温度差発電が縁/住民が語る久米島 本に/穂屋下特任教授ら、30 人から聞き取り/産業・文化・歴史を紹介	朝日新聞
2019. 1. 31	伊万里焼瓶の泡盛 市と沖縄・久米島町 商品化	佐賀新聞
2019. 2. 1	タウンたうん：久米島の泡盛と鍋島焼でコラボ 伊万里/佐賀	毎日新聞
2019. 2. 5	宮腰大臣久米島ご来島	一般社団法人 国際海洋資源エネルギー利活用推進コンソーシアム
2019. 2	第 6 回国際 OTEC シンポジウム/世界最大規模の海洋温度差発電関連国際会議	MICE Japan 2019 2 月号
2019. 3	伊万里市 X 久米島町 コラボ商品を発売	MICE Japan 2019 2 月号
2019. 3. 20	グローバル時代をひらく/「海の発電」地道に成果	日本経済新聞
放映年月日	タイトル	TV 局
2018. 6. 25- 29	オープンラボ告知	伊万里ケーブルテレビ
2018. 6. 30- 7. 3	オープンラボ告知	西海テレビ

2018. 7. 13	オープンラボ告知	サガテレビ かち かちプレス
2018. 11. 7	沖縄県久米島の子供たちと交流 ～東山代小～祭りや特産物を通 じ交流深める	伊万里ケーブルテ レビ
2018. 11. 10- 13	久米島と東山代小学生交流	週刊ほっとさんど (西海 TV)
2019. 1. 26	共同開発 泡盛が商品化	NHK 佐賀
2019. 1. 28	伊万里市・久米島町コラボの酒「刻楽」/伊万里市と久米島町 共 同開発	サガテレビ

